



# 愛媛県立松山北高等学校

## 中島分校

〒791-4501

愛媛県松山市中島大浦 3100 番地 1

TEL 089-997-0031

FAX 089-997-0093

昭和 23 年 県立松山農業高等学校の分校として創立

昭和 24 年 県立松山北高等学校中島分校となる

校訓は文・武・心。社会貢献できる人材の育成を指導目標とする。

本校の伝統は、開拓者精神。創立に際して、向上心に燃える若者が高等学校の設立を嘆願して叶えられた学校。校舎や校庭の工事にも生徒たちが積極的に協力、現在の基礎を築いた。

学級数：3 生徒数：58 普通科

### 中島を知り 中島を愛し 中島を元気づける

11 月に家庭クラブが特別養護老人ホームへ訪問し、車いす清掃をしている。生徒は、積極的に取り組み、体を動かすことをいとわない。職員からは、忙しくて手が回らないので助かっていると言われた。また、7 月の花火大会、8 月の盆踊り大会、12 月の年賀カードプレゼントなどの交流を継続して実施している。

保育園へは、VYS 同好会が土曜日の午前中を利用して年十数回方訪問し、園児と遊びを通して交流している。7 月の夕涼み会、10 月の運動会、12 月のクリスマス会にも参加し、運営等の手伝いをしている。保育園児や高齢者と触れ合うことによって新しいことを知り、生徒自身の心の成長へとつながっている。

中島の観光名物となったトライアスロン中島大会には、毎年、全校生徒の半数以上がボランティアで参加する。



右上 車いすを洗う

右下・左下 クリスマス会

今年度、商業部がご当地グルメ甲子園に“ししの里せいよ”の協力のもと、猪入りたこ焼き「いのまる」で参加した。大好評であった。コンセプトは、地域に被害を及ぼす猪を使った商品開発である。

園芸部は花を育てて、中島の沿道を飾る活動を行っている。

過疎化、高齢化などの課題を抱える地域の中で高校生ボランティア活動が地域を元気づける一助となっている。地域の人々は、若い人が少ない島なので、高校生が来てくれるだけで嬉しいと言ってくれる。また、地域の行事や人々と関わることで、生徒自身にも地域を知り地域を愛する心が育っている。ある生徒の感想「中島を元気づけるということは難しいけれど、交流をすることで中島の人たちに楽しいと思ってもらえたら、元気づけたということになるのかなと思います」。

高校時代のボランティア活動体験が、将来何らかの形で地域の課題解決に取り組む人材の育成の種となり、萌芽となってほしいと思う。



# 愛媛県立松山中央高等学校

〒791-1114

愛媛県松山市井門町 1220 番地

TEL 089-957-1022

FAX 089-958-5954

昭和 62 年 全日制普通科高校としてスタートする。

陽光と緑に包まれた学習環境の中で、21 世紀の国際化、情報化に対応できる人材の育成を目指している。「明日に向かい今を生きる」生徒を育てるため、豊かな人間性の育成と確かな学力の向上を重点努力目標にかかげている。

学級数 27 生徒数 1035 普通科（2 年次よりコース別。人文系・英語系・理数系・医療看護系）

## がんばれ！ボランティア部

現在、ボランティア部の部員は 3 名。活動は、県のヤングボランティアセンターが実施している読み聞かせやシャッターボランティア活動、音楽療法で老人介護施設への慰問、家庭クラブと一緒に地域の保育園で行われる夏祭り、クリスマス（この行事にはダンス部も参加しダンスを披露する）等の補助、ユニセフの募金活動および文化祭にてユニセフの展示をしている。

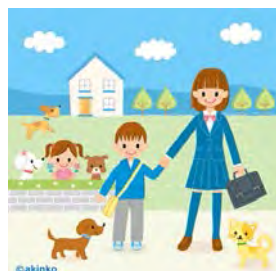
学校から各ホームルームにボランティアの紹介をし、そのボランティアに合った生徒に教員が声をかけているが、参加する生徒は極めて少ない。

参加した生徒は、さまざまな活動の中で自分の興味があるものを選ぶことができたので、自分の進路を明確に考えるようになった。また、かかわった人からの感謝の言葉でやりがいを感じ、つながりの大切さを感じたようである。一度活動に参加すると、再度参加したいという生徒が多い。

全校生徒の中で、ボランティアに参加する生徒は少ないが、興味をもつ生徒は少なくない。その生徒の「ボランティアをしたい」という気持ちを実際に「してみる」形に変えることができるよう、学校全体に働きかけて本校のボランティア人口を増やして行く必要がある。

家庭や学校外で人に接することで、日常とは異なった視点でものごとを感じ、また、誰かのために自ら行動することによって、新たな自分の居場所を再確認することができる。生徒が、自分の存在を自分で認めることはとても大切なことである。

ボランティア活動に第一歩を踏み出せない生徒が多い中、きっかけをどのようにつくっていくかが今後の課題だと思う。





# 愛媛県立松山工業高等学校

〒790-0021

愛媛県松山市真砂町 1 番地

TEL 089-931-8195

FAX 089-931-8860

明治 42 年 松山市立工業学校として松山市二番町に開校する

昭和 9 年 県立に移管、愛媛県立松山工業学校と改称

昭和 23 年 学制改革により愛媛県立松山工業高等学校と改称

自律・創造・協和を校訓に、教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養い、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する豊かな人間性と創造性を備えた実践的な技術者を育成する。

学級数：24 生徒数：約 960 機械科・電子機械科・電気科・情報電気科・工業化学科・建築科  
土木科・線維科

## 日常の清掃活動をこころがける

JRC 部員は線維科 1 年生 2 名。昼休みと放課後、月に 1 度校内美化活動をしている。11 月の文化祭では自主的にゴミ拾いをして分別していたが、その活動を見た他の生徒も非常に協力的であった。生徒の活動がモラルの向上にも役立っているようである。

学校の敷地内には、JRC の花壇があり季節の花を植えているが、綿の栽培も行っている。収穫した綿は線維科の実習に使われる。

平成 24 年までは、足なが街頭募金や日本赤十字のボランティアをしていたが現在は校内活動のみ。部活動や資格習得のため生徒が多忙ということもあってボランティアに時間を割くゆとりがない状態だが、今後は募金活動や校外活動も参加してみたい。

また、生徒会は献血会議（8 月県庁において開催される）に参加して、献血センターの取り組み等、今まで知らなかったことを知り、献血に対する意識が上がった。毎年文化祭には献血車が校内に入るが、今後は、献血について校内全体でアンケートをとり、質問や意見を聞いて、学校全体の取り組みとして献血を呼び掛けるつもりである。

ボランティア活動は、新たな気づきの場として有意義である。生徒の「やってみたい」という積極性に期待したいと思う。



今回参加してくれた生徒会・JRC 部のみなさん。

ボランティアに関する情報が少ないので、自分から進んで行動するための一歩が出にくい。高校生向けの情報誌などを配布し、高校生が参加しやすい環境が出来ればと思う。

愛媛県全体の高校生が参加できるような、愛媛を日本にアピールできる高校生を中心とした「まちおこし」活動があれば県全体が盛り上がると思う。

ボランティアに参加することで、知識を増やすことになるし、社会にふれるきっかけになるので積極的に参加したい。

…生徒会の皆さんは高校 3 年生。すでに進路は決まっている。しっかりとした口調で目指す夢を語ってくれた。





# 愛媛県立松山商業高等学校

〒790-8530

愛媛県松山市旭町 71 番地

TEL 089-941-3751

FAX 089-943-8039

明治 34 年 愛媛県立商業学校を温泉郡道後村に設置することを認可される。

昭和 27 年 愛媛県立松山東高等学校より分離独立して、愛媛県立松山商業高等学校と復活改称する

校訓 「土 魂 商 才」個人の尊厳を重んじ、心理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身につけ、勤労と責任を重んずる資質を養い国家社会の有為な形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を教育方針とする。

学級数：27 生徒数：1071 商業科・国際経済科・流通経済科・情報ビジネス科

## 門前祭で活躍する

毎年 11 月初旬、大街道 3 丁目のロープウェイ街において門前祭が開催されている。その催事に多くの生徒・教員が参加しており、流通経済科の生徒を中心に、生徒たちは各店舗に分かれて販売員として活動し、吹奏楽部やバトン部の生徒たちはパレードで祭りを盛り上げている。また、経済調査部はロープウェイ街のマスコットキャラクター『たんたん』を考案し商店街の活性化にかかわっている。地元商店街と協働したこの活動から地域社会における高校生として果たすべき役割の再確認や職業観の確立といった成果をもたらしている。

家庭クラブでは年に 1 回、休日の地域の清掃活動や乳児院訪問などの活動を行っている。特に乳児院訪問は長年にわたって行われている活動で、年に 10～12 回実施されている。

また、学校行事においても、1、2 年生による石手川河川敷の清掃や 1 年生による施設（高齢者施設、幼稚園・保育園）訪問に行っている。清掃活動は夏の暑い時期に行っており、活動に消極的な生徒が多い。施設訪問においては、不安を口にする生徒もいるが、活動後には多く生徒が充実感を感じているようである。



門前祭



乳児院訪問



施設訪問

さまざまなボランティア活動を通して、周りの人たちに感謝の気持ちを持つ生徒が多く、中には進路へとつなげていく生徒もいる。全校生徒にボランティア活動をしてもらいたいと思うが、生徒数が多いことや部活動が盛んなこともあって、教員の引率を伴う活動には課題が残る。しかし、同世代との交流が中心となっている生徒が多くなっているからこそ、できるだけ異年齢の方々と交流する体験をもつことで、地域社会の一員としての自覚を持たせる必要があると考えている。



# 愛媛県立東温高等学校

〒791-0204

愛媛県東温市志津川 960 番地

TEL 089-964-7442

FAX 089-964-2400

昭和 23 年 県立東温高等学校定時制課程（農業科）として設立

昭和 31 年 全日制課程に移管（昼間部）

学科の特質と生徒の実態に即した特色ある教育を地域との連携を保ちながら展開させ、自ら学び、自ら考える力を育て、一人一人に「確かな学び」を獲得させる教育を実践し、公共の学びや体験活動に努め、広い視野を持って時代を拓く人間性、社会性の育成を図ることを教育方針とする。

学級数：24 生徒数：945 普通科・商業科

## 生徒も一緒に車イスコスモスマラソン

毎年、9月重信リバーサイドサイクリングロードにて、障害者の車イスマラソンが500m、1km、5kmのコースに分かれて開催される。本校では、全校生徒に募集をかけて、支援希望者を募る。今年度は91名の参加だった。最短距離は希望者がライフサポートコースの生徒が車イスを押したり利用者と話したりしながら回る。また、1k、5kはおもにサッカー部の生徒が支援する。利用者と一緒に参加・体験することで、福祉関係の進路を考えている生徒には自信が付き、そうでない生徒においても、日ごろ接することのない人と接することで、自らを振り返るいい機会となる。



また、地域にある特別支援学校や保育所、神社、駅周辺などの清掃活動を、毎年7月に全校一斉でクラスごとに分かれてする。

1年生の活動としては毎年、交流授業として、しげのぶ特別支援学校を訪問する。生徒は、事前に何をするかクラス全体で相談をして決める。

地域に福祉施設が多数あるので、活動に対しては積極的に参加する生徒が多い。

JRC部では、あしなが街頭募金を年2回、児童館・車イスマラソン・高齢者施設祭の補助・団体主催の行事への参加や補助などの活動をしている。

商業科の生徒は、「ビジネス実習」の授業の中で作ったクヌギの葉をいれた「東温石けん」を、全国商い甲子園へ出品し、最優秀賞を獲得した。

ボランティア活動は良くも悪くも必ず何か得るものがある。やり終わった後には感じる何かが残る。活動をさせていただくと気持ちがよくなるので、依頼があれば生徒に参加させてやりたいと思う。

すべての生徒が積極的というわけではない。地域をきれいにしようというときに、全員がそのような気持ちで行っているわけではない。活動に無関心な生徒をどう導くかが課題である。